

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道45号 普代バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：岩手県下閉伊郡普代村第11地割 至：岩手県下閉伊郡普代村第16地割	延長	4.2 km		
事業概要					
<p>普代バイパスは、三陸沿岸北地域で唯一の幹線道路である国道45号において、津波浸水想定箇所の回避、高次救急医療施設への速達性・安全性の向上や事故の減少等安全な交通の確保を図るとともに、緊急輸送道路の信頼性向上等に大きく寄与するものである。</p>					
S63年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	H6年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	156億円	事業進捗率	77%	供用済延長	0 km
地域の防災面の課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・現道の国道45号には、防災点検において要対策箇所と判断された箇所が存在するほか、地震津波発生時における浸水想定区域に含まれている。 ・周辺に代替え路線がなく、災害等による通行止が発生した場合、迂回に要する時間は通常期の約8倍、距離は約9倍となることから緊急輸送道路としての信頼性に問題。 ・急カーブ（Rmin=27m）が5箇所、急勾配（imax=5%）区間が約1km存在し、さらに安全なすれ違いが困難な幅員狭小区間（W=5.5m）が存在。 ・田野畑村における第三次救急医療60分カバー率は人口の約18%と低い。 ・このため、普代村の日常生活を営む上で重大な障害及び不安要素となっており、岩手県、普代村及び周辺自治体等からも改善の要望も出されているなど地域の喫緊の課題となっている。 					
課題を踏まえた対策・事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・線形不良区間、津波による浸水区域の解消を図るため、4.2km区間を別線整備。 ・全線で現道対策を行う場合、集落部を通過しており用地買収には多額の費用を伴いコスト高となること、また現道対策では、線形改良、津波浸水区域解消が困難であることから別線による整備とした。 					
事業の効果等				費用	
<ul style="list-style-type: none"> ○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 (130億円(残事業=130億円)) ○災害による被害の回避 <ul style="list-style-type: none"> ・地震津波発生時における国道45号浸水の回避 ・防災点検要対策箇所(1箇所)の回避 ○地域住民の不安感の解消 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路の信頼性向上(17億円) 				(残事業)/(事業全体) 43/191 億円 (事業費：32/180 億円 維持管理費：11/11 億円)	
関係する地方公共団体等の意見					
知事の意見： 現計画による早期の完成をお願いする。事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。					
事業評価監視委員会の意見					
対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路三陸北縦貫道路のうち、中野バイパス（L=6.2km）が開通。 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					

